

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

アクリル酸n-ブチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

試験番号

1999-生11

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： アクリル酸n-ブチル
- 2) 暴露方式： 半止水式(24時間後に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)：
対照区, 0.10, 0.22, 0.46, 1.0, 2.2, 4.6 mg/L
公比; 2.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器 (密閉容器)
- 7) 連数： 10容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10頭/濃度区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%以内であり、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 1.60 mg/L

(95%信頼区間 : 1.00~2.20 mg/L)

50% 繁殖阻害濃度 (EC50) : > 1.00 mg/L

最大無作用濃度 (NOEC) : 1.00 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : 2.20 mg/L